

一般社団法人 日本写真測量学会 関西支部

第 11 回若手技術者・研究者による技術研究発表会 開催報告

日本写真測量学会関西支部では、平成 27 年 9 月 25 日（金）に 常翔学園・大阪センター（大阪市北区梅田）を会場とし、『第 11 回若手技術者・研究者による技術研究発表会』を 55 名の参加者を集めて開催しました。

この企画は、発表経験の少ない 30 歳以下の学生あるいは社会人を対象とした技術研究発表会であり、その目的は、発表技術の向上、あるいは研究の萌芽段階で外部の意見を聴いたりできる場を設けることです。

今年の発表数は 15 編（学生 11 編、社会人 4 編）あり、「都市」、「景観分析」、「ロケーションサービス」および「社会での実践」の 4 つのセッションに分けて行われました。例年どおり、会場からは鋭い質問や意見・アドバイスが多く挙がり、緊張感のある質疑応答が交わされました。この発表会では、本支部役員が採点を行い、以下に記す 2 名に優秀研究発表賞を授与しました。発表会後の懇親会では、柳川支部長より受賞者が表彰され、和やかな雰囲気の中、発表会は閉会しました。

本支部では、今後も論文作成、発表技術の向上の場となるような技術研究発表会を続けていく所存です。支部の活動内容と今後の予定は、下記の URL よりご覧いただけます。

<http://www.jsprs-w.org>

支部役員一同、空間情報学に興味のある方の参加を、心からお待ち申し上げます。



写真-1 会場の様子



写真-2 質疑応答の様子



写真-3 優秀研究発表賞受賞者
(左から岸本さん、関西支部長、
遠藤さん)

優秀研究発表賞 受賞者氏名（所属）・題目

岸本 将明（京都大学大学院）

・ X バンド多偏波 SAR 画像を用いた都市域抽出手法の開発
遠藤 弘隆（株式会社パスコ）

・ MMS を用いた道路閉塞のおそれのある建築物の抽出



写真-4 懇親会の様子